

第2学年 国語科学習指導案

指導者 西 瑞 穂

- I 単元名 お話を読んで、かんそうを書こう
中心学習材名 スイミー（光村図書2年上）
補助学習材名 レオ＝レオニ作の絵本

II 単元の指導構想

1 単元について

- 第1学年及び第2学年の「思考力、判断力、表現力等」の目標は、「順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする」ことである。「読むこと」の学習を通してこの目標に迫るためには、文章全体に書かれていることや物語の登場人物や出来事、結末など大づかみに把握したりするための様々な読み方を身に付けるとともに、文章の内容に対して一人一人が思いをもったり互いの思いを分かち合ったり感じ方や考え方を認め合ったりする力が必要である。

これまで子どもたちは、物語を読む学習において、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む学習を繰り返し行ってきた。「くじらぐも」や「ふきのとう」の学習では、場面の様子を想像して音読する学習活動を行ってきた。挿絵を利用したり動作や会話を補ったりしながら登場人物の行動を想像し、音読の仕方を考える活動を楽しみながら学んできた。これらの学習を通して子どもたちは、登場人物の行動や会話に動きや言葉を補いながら場面の様子について想像することができるようになってきている。しかし、登場人物の行動の理由やその様子について考えながら読むことに難しさを感じている子どももいる。また、登場人物の行動と重ね合わせながら自分の思ったことや考えたことを発表することを苦手と感じている子どももいる。今後は、登場人物の様子や口調、行動の理由などについて考え、より具体的に想像する学習活動を行っていく必要がある。

- 本単元「お話を読んで、かんそうを書こう」では、場面の様子に着目しながら、主人公の行動を具体的に想像して読むことをねらいとしている。

中心学習材「スイミー」は、レオ＝レオニによって書かれた作品である。主人公であるスイミーの行動をもとにしながら、場面の様子を豊かに想像することができる作品となっている。また、比喩が多彩に用いられ、色や形、大きさなど様々な観点から場面の様子を想像しやすいように描かれている。さらに、これまで学習してきた物語文とは違い、初めて主人公に名前が付けられた作品となっている。主人公に名前が付けられていることで、子どもたちは、スイミーと自分を同化させながら物語を読み進めることができるものと考えられる。補助学習材「レオ＝レオニ作の絵本」は、数あるレオ＝レオニ作品の中から「主人公に名前が付けられていること」「主人公の行動を中心に物語が展開していること」など、「スイミー」と同じ特徴をもつ作品を選材する。

設定した言語活動は、自分が選んだレオ＝レオニ作品の主人公に手紙を書くことである。手紙は、感想をもったところ、読んだ感想、感想をもった理由を書くようにする。具体的には、第2次の展開部後半において、学習した場面のスイミーに対する感想を付箋に書くようにする。そして、場面ごとに書き溜めてきた付箋をもとにしながら、第8時にスイミーに向けた手紙を書く活動を行っていく。第3次では、第2次の学習を生かして、自分が選んだレオ＝レオニ作品の主人公に対して手紙を書いていく。以上のように、主人公に対して手紙を書く活動を設定することで、子どもたちは場面の様子に着目し、主人公の行動について想像を広げながら物語を読むことができると考える。

したがって、子どもの実態と身に付けたい力から判断して、学習材は適材と言える。

- 指導にあたっては、次の二点に留意していく。

一点目は、主人公に同化させる機会を設定することである。子どもたちが、主人公の行動について想像を広げて読むことができるようにするため、主人公に自分自身を寄り添わせながら物語を読ませていくことが必要であると考えた。そこで、中心学習材「スイミー」を学習する際は、スイミーになって話をする活動を学習の展開部分に位置付けていく。そうすることによって、子どもたちは、スイミーの行動について着目しながら、これまで学習した場面の様子やスイミーの行動を結び付けて読むことができ、具体的に想像できるようになると考える。

二点目は、自分自身の学びを自覚することができるように、学習活動や学習者の実態に合わせて振り返りの場を位置付けることである。単元の第2次では、学習の成果と課題を振り返る他に、第6時にこれまで書き溜めた付箋を読み直す活動を位置付ける。その際に取り組みの様子を振り返ったり感想を発表したりすることで、第2次や第3次の学習活動に対する期待感を醸成し、進んで学習に取り組もうとする意欲を高めることへ繋げていく。

2 復興教育（3つの教育的価値）との関連

- (1) いきる「③価値ある自分」とのかかわり

「スイミー」の中で描かれているスイミーの行動や考え方にふれることを通して、どのような状況においても自分自身の価値を自覚し、自分のやるべきことを最後までやり遂げようという気持ちをもつことができるようにする。

- (2) かかわる「⑨仲間や地域の人々とのつながり」とのかかわり

「スイミー」や「レオ＝レオニ作の絵本」を読み、仲間や周りの人のありがたさや互いに支え合って生活することの大切さに気付くことができるようにする。

Ⅲ 単元の指導計画

1 単元の目標

知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等	学びに向かう力, 人間性等
① 言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き, 語彙を豊かにすることができる。 (1) オ	② 場面の様子に着目して, 登場人物の行動や口調, 様子について具体的に想像することができる。 C (1) エ	③ レオ=レオニが書いた作品を読んだり, 主人公に手紙を書いたりする活動に進んで取り組もうとする。

2 学びのつながり

- 子どもたちは, 登場人物の行動や会話に動きや言葉を補いながら場面の様子について想像する学習を繰り返して行ってきた。第1学年では, 「くじらぐも」で, 登場人物の大きさや位置関係, 動作などから場面の様子を想像する力を身に付けてきた。
- 本単元では, 場面の様子に着目しながら, 主人公の行動や口調, 様子について考え, より具体的に想像する学習活動を行っていく。
- 本単元で身に付けた「主人公の行動を具体的に想像して読む力」は次の文学的な文章の「お手紙」の学習において, 登場人物の行動や会話に着目し, 登場人物の気持ちを想像することができるようになっていく。さらには, 日常的な読書活動においても, 登場人物の行動を具体的に想像しながら読む際に発揮され, 第3・4学年の「場面の移り変わり結び付けて想像して読む力」に繋がっていく。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 比喻や倒置法で表される語句の意味を理解している。	② 場面の様子からスイミーの行動の様子や理由を想像し, 手紙に書いている。 C (1) エ	③ 自分が選んだ本を読み, レオ=レオニ作品の主人公の行動を想像してもった感想を手紙にして書こうとしている。

4 単元の指導構想と評価の計画 (全10時間)

次	時	学習活動 働かせる見方・考え方	◆研究にかかわる手立て	◇評価規準及び評価方法
一	1	○ 教師作成の言語活動モデルと出合い, 単元のめあてを決める。 ○ 「スイミー」の範読を聞き, 内容の大体をつかみ, 初発の感想を書く。 ○ 学んでいきたいことを決め, 学習計画を立てる。	◆ 導入部分において, これまで学習した物語文や言語活動を振り返り, 学習の成果や課題を確かめる。 ◆ 学習課題を確かめ, それに向かうための過程を確認しながら教師とともに学習計画を立てる。 【学びの目的・見通し】	◇ 範読を聞き, 心に残ったことを感想に書いている。 【評価②】[ワークシート] ◇ レオ=レオニ作品の主人公に手紙を書くというめあてをもち, 進んで取り組もうとしている。 【評価③】[発言・ワークシート]
	2			
二	3	○ 兄弟と楽しくくらししていたスイミーの様子を考える。 挿絵と合わせて読む 主述の照応 行動に着目した読み	◆ スイミーの色や名前, 行動を表す叙述や挿絵に着目し, スイミーという魚について想像できるようにする。 ◆ (第3時～第7時については,) 分かったことは何かを振り返る。 【学習の成果と課題】	◇ 兄弟と仲良く暮らすスイミーについて想像した感想を付箋に書いている。 【評価②】[付箋]
	4	○ ひとりぼっちになったスイミーの様子を考える。 主述の照応 場面の様子 (時間, 数) に着目した読み 行動に着目した読み	◆ まぐろが襲ってきた一瞬の様子を表す叙述やひとりだけになったことを表す叙述に着目し, ひとりぼっちになったスイミーの様子を想像できるようにする。	◇ ひとりぼっちになってしまったスイミーの行動を想像し, 感想を付箋に書いている。 【評価②】[付箋]
	5	○ 元気を取り戻していったスイミーの様子を考える。	◆ 海で暮らす生き物の色・形・大きさ・動きを表す叙述に着目	◇ 比喻や倒置法で表された海の

並行読書…レオニ作品(主人公に名前がついている)

	場面の様子（色・形・大きさ・動きや位置関係）に着目した読み 主述の照応 行動に着目した読み	しながら、スイミーが元気を取り戻していく様子を想像できるようにする。	生き物について理解している。 【評価①】【発言】 ◇ 元気を取り戻していったスイミーの行動を想像し、感想を付箋に書いている。【評価②】（付箋）
6 本 時	○ 小さな魚たちを見つけ、大きな魚を追い出そうと考えるスイミーの行動を考える。 出来事、主述の照応 場面の様子（大きさ・時間） 行動に着目した読み	◆ これまで起こった出来事や追い出そうとする魚の大きさ、考える時間を表す叙述に着目しながら、大きな魚を追い出そうとするスイミーの行動について想像できるようにする。	◇ 大きな魚を追い出そうとしているスイミーの行動を想像し、感想を付箋に書いている。 【評価②】（付箋）
7	○ 大きな魚を追い出したスイミーの行動を考える。 出来事、主述の照応 場面の様子（時間・速度・形） 行動に着目した読み	◆ これまで起こった出来事や魚の形や泳ぐ速度や時間を表す叙述に着目しながら、大きな魚を追い出したスイミーの行動について想像できるようにする。	◇ 大きな魚を追い出したスイミーの行動を想像し、感想を付箋に書いている。 【評価②】（付箋）
8	○ スイミーに向けて、物語を読んだ感想の手紙を書く。 出来事、主述の照応 行動に着目した読み	◆ 第2次で学んだ学習内容や学習の手順を振り返り、第3次の学習の見通しをもつ。 【学びの目的・見通し】	◇ スイミーを読んで想像したことをもとに、スイミーへ向けた手紙を書いている。【評価②】（手紙）
9	○ レオ＝レオニ作品の中で自分が選んだ本の主人公に向けて、物語を読んだ感想の手紙を書く。	◆ 自分が選んだ本の場面の様子に着目し、主人公の行動を想像して、主人公に向けた手紙を書くことができるようにする。	◇ 自分が選んだ本の主人公の行動を想像し、主人公に向けた手紙を書いている。【評価②】（手紙）
三 10	○ 学習の振り返りをする。	◆ 分かったことやできたことを考え、学習の成果や課題を確かめることができるようにする。【学習の成果と課題】	◇ 自分が書いた付箋や手紙を振り返り、これまでの学習でつけた力を確かめている。 【評価③】（発言・手紙）

並行読書：レオニ作品（主人公に名前がついている）

IV 本時の指導計画

1 目標

- 大きな魚を追い出そうと考えるスイミーの行動について、これまで起こった出来事とスイミーの行動と結び付けて想像することができる。

2 評価規準

- ・ 大きな魚を追い出そうと考えるスイミーの行動を、これまで起こった出来事やスイミーの行動と結び付けて想像し、感想を付箋に書いている。【思考・判断・表現②】

<努力を要する状況の子どもへの手立て>

- ・ これまで起こった出来事を想起し、4の場面のスイミーの行動と比べて、想像することができるようにする。

3 展開

段階	時間	学習活動	期待する子どもの姿	研究にかかわる手立て	・留意点◇評価
導入	2	1 前時までの学習を振り返る。 2 学習課題を確かめる。	○ 食べられてしまうかもしれないのに、スイミーはどうして大きな魚を追い出そうとしたのかな。		・ 初発の感想や前時の振り返りを教師が読み、本時の学習課題へと繋げていく。
		大きな魚をおい出そうとしたスイミーは、どんなことを考えたのだろう。			
展開	5	3 課題解決の見通し □ 課題を解決するために、どのようなところに気を付けて読めばいいですか。	○ スイミーの行動に気を付けて読む。	◆ 気を付けて読むところを問い、本時働かせる言葉による見方・考え方を子どもが意識できるようにする。	
	7	4 学習課題を解決する。 (1) 学習場面の音読 (2) 自己学習 スイミーが考えたことを吹き出しに書く。	○ (スイミーがどんな行動をしたのか考えながら書く。)	◆ スイミーの行動に着目するための音読となるように促す。	・ 4の場面を一斉読する。
	15	(3) 読み深め合い 大きな魚を追い出そうとするスイミーが考えたことを想像する。 □ どうして、海でいちばん大きな魚のふりをしようと考えたのですか。	○ 海で一番大きな魚のふりをして泳ぐことを考えました。 ○ 大きな魚が泳ぐ速さは本当に速かった。あつという間に食べられてしまうから。 ○ 兄弟を食べてしまった魚に負けないうくらい大きな魚でないと追い出せないから。 ○ 前の時みたいにもう兄弟をなくしたくないから、絶対に失敗しない方法にしたかったから。	← 叙述に即した読み ← 出来事、大きさや時間に着目した読み ← 2の場面で仲間たちを一瞬にして失ってしまったことや襲われたマグロの大きさや速さに着目する。	・ 2の場面の出来事とスイミーが大きな魚を追い出そうとした場面を結び付けて読み、スイミーの行動を想像させていく。
	10	(4) スイミーに対する感想を付箋に書く。 (5) 感想を発表する。	○ 前みたいに仲間たちを食べられてしまわないように、絶対に失敗しない方法を考え続けたスイミーは、本当に賢いと思いました。		◇ 2の場面の出来事とスイミーの行動を結び付けて、感想を付箋に書いている。 【付箋】
終末	5	4 振り返りをする。 □ 今日の学習では、お話のどこをじっくり考えて読みましたか。	○ スイミーがどんなことを考えて、大きな魚を追い出したか想像して読みました。	・ 前の場面とスイミーの行動を結び付けて読んでいる姿を取り上げ、価値づける。	・ 付箋の内容をもとにしながら、本学習の成果を確かめさせる。
	1	5 次時の学習を見通す。	○ 次の場面でも、前にどんなことがあったか考えて読んでいきたいな。	◆ 本時で学んだ読み方を生かせるように促す。	・ 学習計画で確認する。

国語
社会
算数
理科
生活
音楽
図画工作
家庭
体育
外国語
道徳
総合
特別活動
特別支援